

コース
NO.33

「宮大工の里」大工町を訪ねて
八王子神社と愛宕山散策コース

最寄駐車場：八王子神社駐車場

播磨国風土記ゆかりの地コース
赤穂義士ゆかりの地コース

約7km

健脚向

約2時間
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

八王子神社スタート

約25分

十王堂

約20分

敬光寺跡

約30分

愛宕山

約20分

普明寺

約25分

八王子神社ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823

八王子神社
TEL 0790-45-0751

コースガイド

八王子神社をスタートし、県道145号線まで下り右折。宇仁小学校西交差点の信号をすぎ、2つ目の村道を右折。そのまま北へ道なりに進むと、ガードレールのある十字路が出てくるので、右折すると公会堂があり、そこから細い道を上っていきと八幡神社がある。来た道に戻ってさらに北へ進み、突き当たりを左折。しばらく歩くと、車庫が見えるので、その裏の道の方へ右折。細い道を進み、大石内蔵助の立石手前の細い道を左折。道なりにあがると敬光寺跡に到着。もとの道に戻り左折し、歩くとすぐに道沿いの家の軒下に赤穂義士で有名な大石内蔵助の立石がある。そのまま道なりに進んで行くと、左手に松波稲荷神社の赤い鳥居が見えてくるので行ってみよう。来た道に戻り左折し、田んぼの間の交差点を左折し、途中のT字路を右折すると、普明寺に到着。普明寺の梵鐘横にある防護柵を外し、愛宕山に登ろう。愛宕山を下山し、東池沿いを道なりに下る。突き当たりまで来たら左折し、しばらく歩くと、地獄絵図の残る十王堂が見えてくる。さらに東へ進み、石碑がある十字路を右折。八王子神社西参門を通してゴールの八王子神社へ到着。



愛宕山山頂

イチオシ 松波稲荷神社

大工町はその昔、各工飛驒の内匠(たくみ)が居住し周辺各地の造営にたずさわり次第に技が全村の子孫に伝わり大工集団の村になったと伝えられています。大工町にある松波稲荷神社は、大正13年に改修工事をした際に町内に点在して祀っていた御社を集合させて、現在の配置でお祀りをしています。(住所:加西市大工町)



普明寺 釈迦十三仏像

トピックス

【普明寺釈迦十三仏像】
普明寺の小祠(釈迦堂)に祀られている板碑状の石仏です。室町時代末期における加西の石仏の作風を知る上で、重要な作例となっています。

トピックス

【大石内蔵助の立石】
大工町旧道の路傍に高さ約50cmの自然石が立っています。江戸時代、大工町は浅野赤穂藩領で、大石内蔵助一行がこの地を巡業した際、この立石で一息ついたと伝わっています。



大石内蔵助の立石